

ふくろ幼稚園のサクランボの木は、2本あります。昨年までは、合わせて2~3個程度しか実がつかなかったのですが、今年は、子どもたちが一つずつ食べることができる数が実りました。サクランボの実を空にかざして、つややかな実を嬉しそうに見ている子や、サクランボを揺らしてニコニコしている子、友達と大きさを比べている子など、みんなの収穫を待つ間も様々なことを感じ取っている様子でした。そして、一粒の実を大事そうに口に入れると、笑顔になりました。子どもの笑顔を見ると、大人も笑顔になります。子どもと共に過ごせる毎日は幸せだと改めて感じるひとときでした。

さて、令和3年度も、園だよりの他に、園長だより「笑顔」を発行して、園長のつぶやきや、自分の子育てを振り返って今感じていることなど、皆さんが笑顔になるような話題をお伝えしていきます。

## 周りの様子に気持ちを向けること

子どもたちは、もり組に進級して1か月が過ぎました。この大きな節目を、子どもたちなりにそれぞれのペースで意識し始めていると感じています。

先日、弁当準備の際にAさんは、「今日は、弁当の支度が最後にならないようにやってみる。」と、宣言してからテキパキと動いていたそうです。これまでのAさんは、弁当準備の手順をきちんとしてしようとするあまりに、時間がかかっていたようです。以前担任は、子どもたちが周りの様子に目を向けて自分の行動を考えていかれるように、「みんなが待っていますよ。」と、伝えたことがありました。Aさんは、「みんなを待たせないようにしたい。」と思ったのでしょうか。「こうなりたいと願う気持ち」が、心の中で芽生えてきていることを感じます。

周りの様子に気持ちを向けている言葉「お待たせ。」「待っていてくれてありがとう。」など、待たせてしまったと実感できる言葉のやり取りを促し、子どもたちの自立心が育つように支えてまいります。

## 今になって思うこと

我が家では、息子たちの幼い頃に古い機種で撮影したビデオを、新機種に対応できるようにダビングし直す作業を、最近になって始めました。見返してみると、生まれたばかりの我が子が寝ているところを、ひたすら撮影し続けているなど、当時の新米父ちゃん母ちゃんの気持ちが思い出されます。連休中、ダビング作業に取り組んでも、まだ3歳時点・・・「どれだけ記録したのだろう。」と苦笑しています。

長男が2歳の頃、湖の遊覧船に乗った時、息子が「ジュース飲むのー!」と、泣きじゃくったことがありました。ビデオを見ると、この船に乗る前に、息子が暑い夏の太陽の下で、ひたすら走り回っている姿が映っていました。こんなに長い時間、よく走っていたなと思いながら見ていくうちに、喉が渇いているのに、水分補給もしないで船に乗せていたことに、今になって気付きました。泣かないでほしいと思いながら船に乗っていましたが、熱中症にならなくてよかったと、今頃冷や汗をかいてしまいました。泣いている理由は、親が予測したことと違うことがあるようです。わがままで、などと決めつけてしまうだけでは、見えてこないのかもしれませんが、その時はその時で一生懸命に子育てしていたのです。うまくいかないことも多かった子育てですが、先日の母の日、私はビデオを見返しながら、「母」になることができただけで、幸せなことだと改めて思う日になりました。保護者の皆様、一生懸命に子育てをしている自分を褒めながら、親の喜びを見つけていきましょう。